

日本防災士会滋賀県支部設立10周年記念誌

10年のあゆみ



(滋賀県防災士会)

平成29年2月

災害から地域を守るリーダーに

滋賀県内の防災士でつくる「日本防災士会滋賀県支部」が、このほど発足した。琵琶湖西岸断層帯による地震の発生が懸念されるなか、防災士が連携して、地震などによる被害を最小限に食い止めるため、日ごろから地域住民に災害に対する備えの大切さを伝えるとともに、災害時に支援活動に努めることを目指す。

支部の発足は全国で10番目で、京滋では初めてとなる。

防災士は、阪神大震災を教訓に、制度化され、救急救命の技術や減災の知識を身に付けた地域リーダーだ。滋賀県支部は、県内の自治体の防災担当者や特定郵便局長、自主防災組織の役員ら23人が参加してい

日本防災士会 県支部が発足

る。

支部は活動目的として、災害時に消防や自衛隊など公的支援が到着するまでの間、被害の軽減に努める▽災害時に救急救命や避難所の運営にあたるほか、ボランティアと連携して被災者を支援する▽市民に対し、防災意識の向上を呼び掛け、災害に備えた訓練を実施する一などを掲げている。県内の自治体や消防本部などと連携して活動を進める計画だ。

大住光男支部長(62)は「防災士一人一人では動きに限界があるが、相互に連携してスキルアップを図り、地域の防災リーダーとして、自分たちの地域を自分たちで守ることを目指したい」と話している。

住民意識向上の広報、避難所など運営も

日本防災士会滋賀県支部 設立 趣意書

わが国は災害列島といわれます。自然災害(地震、風水害、土砂崩れ、火山の噴火)などによる被害は、人命をはじめとして多大な経済的損失をもたらし、その影響は真に深刻なものがあります。これに的確に対応するためには、公のみに頼りではなく国民の一人ひとりがわが事として、自分の命は自分で守る、地域は地域で守る、職場は職場で守るという気概を持ち、積極的に行動することが必要であります。

こうした考えのもと、とくに兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)の経験を契機として、防災に関する啓発と自然災害時の救援活動などにリーダーとなることのできる人材が求められるようになり、行政、学界その他民間の防災に関する専門家、実務家が検討した結果、常日頃から防災のための啓発活動を行ない、自然災害時には被害を最小限に食い止める働きをする「防災士」の養成を図ることとなりました。

平成15年10月に防災士第1号が誕生して以来、現在1万人を超える防災士が社会に送り出されるに至っております。防災士は、自助、共助の精神のもと、家庭をはじめとして、地域で職場で防災力の向上のための活躍が期待され、そのための専門的な知識・技能を身につけた人々であります。災害時の態様は多岐にわたり、その対策も絶えず見直されています。

こうした中で、防災士がよりよくその能力を発揮するためには、防災士相互の協力が不可欠であります。防災士一人ひとりではその働きに限界があります。防災士がその知識を更新し絶えず最良の資質を身につけるうえで、個々の防災士の活動を強力にバックアップが必要となります。

以上のような考えから、今般有志防災士相集い、日本防災士会とも協力して、防災士相互の交流を通じて研鑽の場として日本防災士会滋賀県支部を設立する運びとなりました。多くの防災士の方々と各界のご理解とご協力を切望する次第であります。

平成18年4月4日

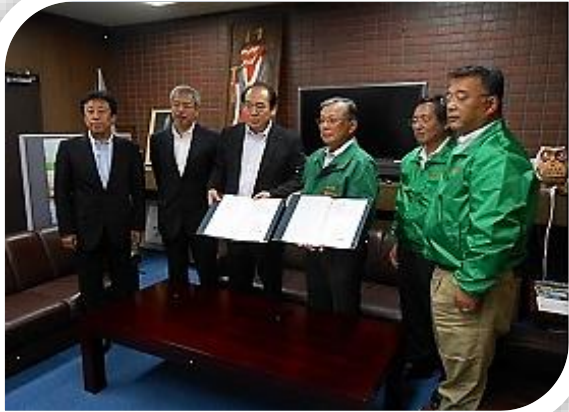
日本防災士会 滋賀県支部設立発起人会

日本防災士会 滋賀県支部(滋賀県防災士会)	日本防災士会	日本の災害																								
H18/3/18 滋賀県支部発足準備委員会開催(7名の参加) (県内の防災士認証者 84人 日本防災士会会員 20人)	H11/12 NPO法人防災情報機構が 「防災士制度」の検討に着手 H13/12 任意団体日本防災士機構設立 H14/7 内閣府が「特定非営利活動 法人日本防災士機構」を認証 H15/9 第1回防災士資格取得試験(東京) H15/10 防災士第1号認証(防災士認証者数216名) H15/10 防災士第1号認証(防災士認証者数216名) H16/10 (日本防災士会設立発起人会開催) H18/2 防災士認証者10,000人達成 (防災士会員数 3,074人)	H7/1 兵庫県南部地震 (阪神淡路大震災) H12/6 三宅島噴火 H12/10 鳥取県西部地震 (M7.3) H13/3 芸予地震(M6.7) H15/9 十勝沖地震(M8.0) H16/10 新潟県中越地震 (M6.8 震度7) H17/3 福岡県西方沖地震 (M7.0)																								
H18年度 滋賀県支部の動き H18/4/23 設立総会開催 会員数 23名 日本防災士会滋賀県支部設立。 初代支部長に大住光男氏が就任 (大津市生涯学習センターにて) <table><tr><td>(副支部長)</td><td>佐々木・松浦</td></tr><tr><td>(事務局長)</td><td>中野</td></tr><tr><td>(幹事)</td><td>折笠・草野・野崎・饗庭・川端</td></tr><tr><td>(会計)</td><td>石飛 (監査) 竹本・本田</td></tr></table> 大住初代支部長 全国で10番目 H19/1 講演 設立記念講演(減災フォーラム) 滋賀大学と共催 於：大津市ふれあいプラザ 「琵琶湖西岸断層について」 法政大学社会学部教授 東郷 正美氏 活動状況 <table><tr><td>報道21回</td><td>訓練2回</td><td>講習・研修5回</td><td>自治会対応2回</td></tr></table> H19年度 滋賀県支部の動き H19/6/24 総会開催 会員数 27名 <table><tr><td>(支部長)</td><td>大住 光男</td><td>(副支部長)</td><td>佐々木・松浦</td></tr><tr><td>(幹事)</td><td colspan="3">折笠・草野・野崎・饗庭・川端・本田・渡辺</td></tr><tr><td>(事務局長)</td><td>中野</td><td>(会計)</td><td>石飛 (監査) 竹本・本田</td></tr></table>	(副支部長)	佐々木・松浦	(事務局長)	中野	(幹事)	折笠・草野・野崎・饗庭・川端	(会計)	石飛 (監査) 竹本・本田	報道21回	訓練2回	講習・研修5回	自治会対応2回	(支部長)	大住 光男	(副支部長)	佐々木・松浦	(幹事)	折笠・草野・野崎・饗庭・川端・本田・渡辺			(事務局長)	中野	(会計)	石飛 (監査) 竹本・本田	H19～ 大住光男氏(初代滋賀県支部長)が 日本防災士会役員に就任 ・H19～21 常任幹事・組織委員長 ・H20 法人化検討専門部会長 ・H22～24 常任理事・経理統括 (日本防災士会のNPO法人化に 絶大な功績を残される)	H19/3 能登半島地震 (M6.9) H19/7 新潟県中越沖地震 (M6.9)
(副支部長)	佐々木・松浦																									
(事務局長)	中野																									
(幹事)	折笠・草野・野崎・饗庭・川端																									
(会計)	石飛 (監査) 竹本・本田																									
報道21回	訓練2回	講習・研修5回	自治会対応2回																							
(支部長)	大住 光男	(副支部長)	佐々木・松浦																							
(幹事)	折笠・草野・野崎・饗庭・川端・本田・渡辺																									
(事務局長)	中野	(会計)	石飛 (監査) 竹本・本田																							

日本防災士会 滋賀県支部(滋賀県防災士会)	日本防災士会	日本の災害																								
H19/9 大津市総合防災訓練に初めて参加（防災コーナーに展示） 於）堀場製作所 琵琶湖工場建設予定地 H19/10 講演 防災士 17名 参加 防災士全員交流研修会 於：近江八幡市 G-NETしが 「準備OKですか！防災士」 彦根工業高校 教諭 岡田 信二氏 H20/1 講演 防災士 7名 参加 地震アセスメント 於：大津市 ふれあいプラザ 「活断層地震の今後を聴く」 産業技術総合研究所 地質情報研究部門 主任研究員 小松原 琢氏 H20/1 Bousai Shiga ホームページ開設 活動状況 訓練1回 講演・研修13回 H20年度 滋賀県支部の動き H20/6/1 総会開催 会員数 43名 <table><tr><td>(支部長)</td><td>大住 光男</td><td>(副支部長)</td><td>佐々木・松浦</td></tr><tr><td>(幹事)</td><td>草野・川端・本田・饗庭・渡辺・望月</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(事務局長)</td><td>中野 (会計) 石飛</td><td>(監査)</td><td>竹本・土田</td></tr></table> H21/3 講演 防災士 14名参加 会員研修 於：大津市 ふれあいプラザ 「滋賀県の耐震補強の現状」 元滋賀県立大学 教授（工学博士）福本 和正氏 活動状況 報道7回 訓練1回 講演・研修8回 訓練指導4回 H21年度 滋賀県支部の動き H21/6/14 総会開催 会員数 42名 <table><tr><td>(支部長)</td><td>大住 光男</td><td>(副支部長)</td><td>佐々木・松浦</td></tr><tr><td>(幹事)</td><td>草野・川端・本田・饗庭・渡辺・望月・辻川・岡田・加藤・池田・辻・橋本・山本</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(事務局長)</td><td>中野 (会計) 石飛</td><td>(監査)</td><td>大坪・土田</td></tr></table> 講演 総会時研修 於：草津市 まちづくりセンター 「防災を継続するコツ！生活防災」 自主防災組織 加古川グリーンシティ防災会 防災会長 大西 賞典氏 H21/9 赤い羽根共同募金の助成金を受けて、 「DIG 災害図上訓練の進め方」DVDを作成し、会員に配布	(支部長)	大住 光男	(副支部長)	佐々木・松浦	(幹事)	草野・川端・本田・饗庭・渡辺・望月			(事務局長)	中野 (会計) 石飛	(監査)	竹本・土田	(支部長)	大住 光男	(副支部長)	佐々木・松浦	(幹事)	草野・川端・本田・饗庭・渡辺・望月・辻川・岡田・加藤・池田・辻・橋本・山本			(事務局長)	中野 (会計) 石飛	(監査)	大坪・土田	H19/11 防災士認証者20,000人達成 H20/6 岩手・宮城内陸地震 H21/3 防災士認証者30,000人達成 	
(支部長)	大住 光男	(副支部長)	佐々木・松浦																							
(幹事)	草野・川端・本田・饗庭・渡辺・望月																									
(事務局長)	中野 (会計) 石飛	(監査)	竹本・土田																							
(支部長)	大住 光男	(副支部長)	佐々木・松浦																							
(幹事)	草野・川端・本田・饗庭・渡辺・望月・辻川・岡田・加藤・池田・辻・橋本・山本																									
(事務局長)	中野 (会計) 石飛	(監査)	大坪・土田																							

日本防災士会 滋賀県支部(滋賀県防災士会)		日本防災士会	日本の災害
H22/2 講演 会員研修 於：大津市 ふれあいプラザ 「災害時高齢者生活支援講習」 日本赤十字社滋賀県支部 岩永 止美子氏 活動状況 訓練1回 講演・研修2回 H22年度 滋賀県支部の動き H22/6/27 総会開催 会員数 41名 (支部長) 大住 光男 (副支部長) 佐々木・松浦 (幹事) 草野・川端・本田・饗庭・渡辺・望月・辻川 岡田・加藤・池田・辻・橋本・山本・中野・谷本 (事務局長) 鈴木 (会計) 石飛 (監査) 大坪・土田 H23/3 講演 会員研修 於：大津市 ふれあいプラザ 「未発見活断層問題と滋賀県内で最近発見 された活断層について」 産業技術総合研究所 地質情報研究部門 主任研究員 小松原 琢 氏 H23/3 建築分科会 面格子壁(耐震壁) 実験報告書まとまる 活動状況 訓練2回 講演・研修2回 H23年度 滋賀県支部の動き H23/6/18 総会開催 会員数 45名 (支部長) 大住 光男 (副支部長) 佐々木・松浦・川端 (事務局長) 鈴木 (会計) 溝江 (監査) 加藤・大坪 H23/6 講演 総会時研修 於：大津市 ふれあいプラザ 「東日本大震災被災地支援活動報告」 大津市社会福祉協議会 主任 井ノ口 浩士 氏 「宮城県災害ボランティア支援を通して感じること」 滋賀県社会福祉協議会 課長 谷口 郁美氏 H23/9 アマチュア無線の勉強会始まる (参加者 7名) H24/3 日本防災士会 西日本支部長会議 (2名出席) 於：新大阪 丸ビル 活動状況 訓練3回 講演・研修2回		H22/6 防災士認証者40,000人達成 H22/11/25 日本防災士会 「特定非営利活動法人」法人格認証 H23/3 東北地方太平洋 沖地震 (東日本大震災) H24/3 防災士認証者50,000人達成	

日本防災士会 滋賀県支部(滋賀県防災士会)	日本防災士会	日本の災害																												
H24年度 滋賀県支部の動き H24/6/9 総会開催 会員数 50名 (全員留任) <table><tr><td>(支部長)</td><td>大住 光男</td><td>(副支部長)</td><td>佐々木・松浦・川端</td></tr><tr><td>(事務局長)</td><td>鈴木</td><td>(会計)</td><td>溝江</td></tr><tr><td></td><td></td><td>(監査)</td><td>加藤・大坪</td></tr></table> 講演 総会時研修 於：大津市 ふれあいプラザ 「液状のメカニズム・被災事例 液状化対策と滋賀県での液状化及び対策」 立命館大学理工学部 工学博士 深川 良一氏 H24/10 大津市防災士養成事業スタート（支部から講師派遣） H24/7 日本防災士会 近畿地区支部長会議（2名出席） 於：芦屋市 H24/8 日本防災士会関西支部連絡協議会設立 於：新大阪 丸ビル 滋賀県支部長 大住 光男氏 理事に就任 H24/8 講演 関西連絡協議会設立記念講演 防災士3名参加 「今後の日本防災士会の展望について」 日本防災士会 本部事務統括 橋本 茂氏 活動状況 訓練2回 講習・研修5回 H25年度 滋賀県支部の動き H25/4/29 総会開催 会員数 45名 支部長に佐々木南雄氏が就任（現在に至る） <table><tr><td>(支部長)</td><td>佐々木南雄</td><td>(顧問)</td><td>大住・加藤</td></tr><tr><td>(副支部長)</td><td>川端・渡辺・手塚・松浦・西川・安井</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(事務局長)</td><td>溝江</td><td>(副事務局長)</td><td>本田</td></tr><tr><td>(会計)</td><td>池田</td><td>(監査)</td><td>土田・谷本</td></tr></table> H25/4 支部内にアマチュア無線クラブ（SBAC）発足 （定期交信訓練開始） H25/9 台風18号による県下の災害現場に災害ボランティアとして、滋賀県支部会員が活動 大津市社会福祉協議会等、災害ボランティアセンター開設	(支部長)	大住 光男	(副支部長)	佐々木・松浦・川端	(事務局長)	鈴木	(会計)	溝江			(監査)	加藤・大坪	(支部長)	佐々木南雄	(顧問)	大住・加藤	(副支部長)	川端・渡辺・手塚・松浦・西川・安井			(事務局長)	溝江	(副事務局長)	本田	(会計)	池田	(監査)	土田・谷本	—目標— 4年間で600人の 防災士養成 H25/2 防災士認証者60,000人達成  (佐々木支部長)	H24/7 九州北部豪雨 H25/8 猛暑が続く！ 四万十市 最高気温41℃
(支部長)	大住 光男	(副支部長)	佐々木・松浦・川端																											
(事務局長)	鈴木	(会計)	溝江																											
		(監査)	加藤・大坪																											
(支部長)	佐々木南雄	(顧問)	大住・加藤																											
(副支部長)	川端・渡辺・手塚・松浦・西川・安井																													
(事務局長)	溝江	(副事務局長)	本田																											
(会計)	池田	(監査)	土田・谷本																											

日本防災士会 滋賀県支部(滋賀県防災士会)	日本防災士会	日本の災害
H25/10 NHK大津放送局と災害情報リポーターに関する覚書を締結  H25/11/7 初代支部長 大住光男氏ご逝去 H25/11 甲賀市総合防災訓練でのDIG訓練を実施するにあたり講師6名派遣（毎年継続中） 23班 156名の参加 想定 集中豪雨による河川氾濫 （総勢156名によるDIG訓練） 	H25/9 日本初 大雨特別警報発令 （京都・滋賀・福井）  （災害情報リポーター登録証） H25/10 防災士誕生10周年記念の集い開催（仙台市） H25/11 防災士認証者70,000人達成	
H26/3 大津市の広域避難場所に指定されているびわこ文化公園内にて開催されるそなえパーク（防災に特化した催し）に県支部会員を派遣（毎年継続中） （防災クイズ）   （水消火器訓練） 活動状況 訓練3回 講習・研修13回 講師4回		

日本防災士会 滋賀県支部(滋賀県防災士会)		日本防災士会	日本の災害																
H26年度 滋賀県支部の動き																			
H26/5	会員の情報共有を図るためサイボウズLiveの活用を始める																		
サイボウズLiveは、インターネットを利用してグループ員との連絡や掲示板、ファイル共有など情報共有に適したチーム運営に必要な機能がそろった「チームのためのグループウェア」です。パソコンやスマホ又はガラケーの携帯でも利用可能で、無料で利用できる。																			
H26/5/25	総会開催 会員数 38名 <table><tr><td>(支部長)</td><td>佐々木南雄</td><td>(副支部長)</td><td>安井</td></tr><tr><td>(幹事)</td><td colspan="3">渡辺・手塚・加藤・松浦・西川</td></tr><tr><td>(事務局長)</td><td>川端</td><td>(事務局次長)</td><td>本田</td></tr><tr><td>(会計)</td><td>川端(兼務)</td><td>(監査)</td><td>大坪・谷本</td></tr></table>	(支部長)	佐々木南雄	(副支部長)	安井	(幹事)	渡辺・手塚・加藤・松浦・西川			(事務局長)	川端	(事務局次長)	本田	(会計)	川端(兼務)	(監査)	大坪・谷本	(サイボウズLiveの画面)	
(支部長)	佐々木南雄	(副支部長)	安井																
(幹事)	渡辺・手塚・加藤・松浦・西川																		
(事務局長)	川端	(事務局次長)	本田																
(会計)	川端(兼務)	(監査)	大坪・谷本																
H26/4	NHK・FM おうみiに「防災関係」出演(2回/月) 現在まで40名の県支部会員が出演(現在も継続中)  NHKテレビ おうみ発630「防災ピックアップ」に出演(9回9名が出演)																		
		H26/8 防災士認証者80,000人達成	H26/8 広島県土砂災害 (安佐北区・南区)																
H27/1	講演 会員研修 於：彦根気象台 参加者12名 気象台見学 「防災気象情報の活用及び近年の気象災害」 彦根気象台 坂口観測予報管理官		H26/9 御嶽山 噴火																
活動状況	<table><tr><td>講演10回</td><td>DIG訓練17回</td><td>HUG訓練4回</td><td>その他研修訓練11回</td></tr></table>			講演10回	DIG訓練17回	HUG訓練4回	その他研修訓練11回												
講演10回	DIG訓練17回	HUG訓練4回	その他研修訓練11回																

日本防災士会 滋賀県支部(滋賀県防災士会)		日本防災士会	日本の災害
H27年度 滋賀県支部の動き H27/5/24 総会開催 会員数 43名 勉(支部長) 佐々木南雄 (副支部長) 安井 務 (幹事) 渡辺・手塚・加藤・松浦・西川 (事務局長)川端 (事務局次長)本田 (会計) 東 (監査) 大坪・谷本 総会時研修 於：大津市 ふれあいプラザ 「災害情報の発信」 NHK大津放送局 アナウンサー 藤澤 義貴氏 防災士 25名参加 H27/8/11 講演 彦根气象台と連携 防災士 20名参加 会員研修 於：大津市 ふれあいプラザ 気象庁ワークショップ 「経験したことのない大雨・その時どうする」 H27/9 「ハン六地域振興賞」受賞 これまでの活動に対し、第29回ハン六文化振興財団から表彰を受ける(副賞 金10万円) H27/12 大津市の防災士養成 496人に H28/2 防災士 26名参加 会員研修 於：大津市 ふれあいプラザ 『瀬田川洗堰の役割「琵琶湖の水位管理」について』 国土交通省琵琶湖河川事務所 木瀬 龍也 氏 活動状況 講演13回 DIG訓練7回 HUG訓練2回 その他研修訓練7回 H28年度 滋賀県支部の動き H28/5/22 総会開催 会員数 66名 (支部長) 佐々木南雄 (副支部長) 安井 (幹事) 渡辺・手塚・北村・中田・西川・本田 (事務局長) 川端 (事務局次長) 高山 (会計) 東 (監査) 大坪・加藤 講演 総会時研修 於：大津市 ふれあいプラザ 「水害に強い地域づくりの取り組み ～大雨にそなえて地域でできること～」 滋賀県 流域治水政策室 山田 千尋氏		(彦根地方气象台) H27/2 防災士認証者90,000人達成 H27/9 東京都、全都民に「東京防災」配布 東京防災 ⇒ 県防災士会で購入し、 全会員に配布 (H28.4～) ハン六地域振興賞 第29回贈呈式 ハン六地域振興財団 滋賀県防災士会様 賞状 表彰状 賞状 (ハン六地域振興賞の盾等) H27/11 防災士認証者100,000人達成 H28/3 防災士認証者10万人記念大会 (憲政記念館)を開催 H28/4 防災士認証者110,000人達成	H27/9 鬼怒川 決壊 H28/4 熊本地震 (M8.3) H28/10 鳥取県中部地震 (M6.6)

日本防災士会 滋賀県支部(滋賀県防災士会)	日本防災士会	日本の災害																								
H28/11 大津市市民フェスタに「煙中体験」を初出展 	H28/12 防災士認証者120,000人達成 H29/1 防災士認証者124,034人 日本防災士会会員数 7,700人 内各支部に在籍の会員数 3,198人 滋賀県支部会員数 75人	(県内1,567人) 大津市 676人 湖南市 235人 栗東市 120人 甲賀市 114人																								
H29/2/19 滋賀県支部10周年記念講演会 『減災は、一人ひとりの努力から』 第1部 防災講演「動け！防災士 ～地域を守るのはあなたです～ 講師 兵庫県防災士会 理事 事業部長 横山 恭子氏 於）滋賀県危機管理センター 第2部 フォーラム われらの地域活動 <table><tr><td>報告者</td><td>副支部長（湖東ブロック）安井 務</td><td>参加者</td><td>159名</td></tr><tr><td></td><td>大津ブロック 渡邊 光悦</td><td>大津市内</td><td>81名</td></tr><tr><td></td><td>郵便局長会 本田 昭彦</td><td>県内</td><td>47名</td></tr><tr><td>コメンター</td><td>大津市危機防災対策課 眞鍋 智行 氏</td><td>その他</td><td>1名</td></tr><tr><td></td><td>兵庫県防災士会 横山 恭子</td><td>支部会員</td><td>30名</td></tr><tr><td>コーディネーター</td><td>事務局 山口 浩次</td><td></td><td></td></tr></table>			報告者	副支部長（湖東ブロック）安井 務	参加者	159名		大津ブロック 渡邊 光悦	大津市内	81名		郵便局長会 本田 昭彦	県内	47名	コメンター	大津市危機防災対策課 眞鍋 智行 氏	その他	1名		兵庫県防災士会 横山 恭子	支部会員	30名	コーディネーター	事務局 山口 浩次		
報告者	副支部長（湖東ブロック）安井 務	参加者	159名																							
	大津ブロック 渡邊 光悦	大津市内	81名																							
	郵便局長会 本田 昭彦	県内	47名																							
コメンター	大津市危機防災対策課 眞鍋 智行 氏	その他	1名																							
	兵庫県防災士会 横山 恭子	支部会員	30名																							
コーディネーター	事務局 山口 浩次																									
今後の滋賀県支部の活動方針等について 「普段からコミュニティ（自治会等）の中で、しっかりとしたコミュニケーションがとれる」地域づくりをめざして、コミュニティ組織が行う防災訓練等、地域の防災力向上に役立つスキルアップ研修を進めていきます。 また、「過去、県内で繰り返し発生した災害の被害実態等を知る」ことは、災害発生の継続性からも防災活動のヒントとなり、過去の災害記録の教訓をスキルアップ研修に活かしていきます。																										

滋賀県支部(滋賀県防災士会)所有備品一覧(会員貸出用)

訓練用水消火器

10型 5本 4型 3本
約5個 給水一式



卓上小型スクリーン



プロジェクター 1式



有・無線兼用マイク一式



ノートパソコン



のぼり



旗



防災士ジャンパー10枚



滋賀県支部 ベスト 8枚



CD・DIG訓練の進め方 7本



CD・防災クイズ 2本



CD・住民が実施する救出活動 2本



CD・ロープワーク結索の基本 4本



CD・いざ そのとき



CD・包帯法 4本



県支部発足10周年記念事業



テント(1×2間) 1式 (煙中体験・展示用テント)

H28年度 (社)大津市社協
ボランティア基金からの助成



スモークマシン 1式 (煙中体験用)

H28年度 (社)大津市社協
ボランティア基金からの助成



会旗入れバック 1



H28年度 赤い羽根共同募金からの助成



会旗 一式 (旗・竿・竿頭・三脚)



H28年度 赤い羽根共同
募金からの助成